八戸市中央卸売市場運営協議会会議録

日　　時：平成 27 年 10 月 16 日（金）午後 2 時 00 分
場　　所：市場管理棟２階　大会議室
出席委員：田中会長、岡沼委員、横町委員、外澤委員、小山副会長、川﨑委員、柳町委員、中居委員、
　　畠山委員、佐々木委員、木村委員、平委員
欠席委員：松橋委員、門前委員
事 務 局：山本農林水産部長、佐々木正喜市場長、加藤主幹、佐々木謙二主査、高橋主査、
　　獅子内主事、工藤技能主事兼技能技師

報告及び職員紹介

○司　会　本日は、ご出席いただきましてありがとうございます。私は、本日の司会を務めます、管理事務所の獅子内と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただ今から、八戸市中央卸売市場運営協議会を開会いたします。

まずは、運営協議会委員に変更がありましたので、ご報告させていただきます。八戸市付属機関の設置及び運営に関する要綱の一部改正に伴い、市議会議員を委員として選任しないものとすることとなったため、当協議会の会長を務めておりました、小屋敷委員が辞任いたしました。

後任の委員につきましては、学識経験者区分の委員となるため、八戸学院大学から、新たに図書館長の田中哲様をご推薦頂きました。本日、委嘱状の交付をいたします。

続きまして、本年４月１日付け人事異動により、事務局に変更がありましたので、紹介をさせていただきます。まずは中央卸売市場　市場長の佐々木正喜でございます。

○市場長　佐々木です。どうぞよろしくお願いいたします。

○司　会　次に、主幹の加藤　僚子でございます。

○主　幹　加藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

○司　会　主査の、高橋　克郎でございます。

○主　査　高橋です。どうぞよろしくお願いいたします。

○司　会　私、主事の獅子内でございます。よろしくお願いいたします。

また、今年度は７月１日付けの人事異動があり、前市場長の船田泰寛(ふなだ やすひろ)が異動となり、農林水産部次長兼農政課長の上村智貞が新たに中央卸売市場を担当することとなりました。本日は、所用により欠席しております。

以上、ご報告と職員の紹介でございました。

１．開　会

○司　会　それでは、ただいまから、八戸市中央卸売市場運営協議会を開会いたします。

２．委嘱状交付

○司　会　はじめに、市長から、田中委員へ、委嘱状を交付いたします。本日、市長は所用のため出席できません。代って山本農林水産部長が交付いたします。
田中委員は、ご起立の上、その場でお受けくださるようお願いいたします。
田中　哲　様

以上で、委嘱状の交付を終わらせていただきます。

３．市長挨拶

○司　会　続きまして、本日の出席状況についてご報告申し上げます。本日は、松橋委員、門前委員が、ご都合によりご欠席でございますが、14 名中、12 名の委員にご出席いただいております。
よって、運営協議会規則第 4 条第 2 項の、会議開催の定足数を満たしております。
それでは、協議会開催にあたりまして市長より、挨拶申し上げます。本日は、山本農林水産部長が代って挨拶を行います。

○部　長　ただいま紹介いただきました、農林水産部長の山本でございます。25 日まで、市長は検査入院の為、市民病院に入院しておりますので、代わって私が挨拶致します。
本日、皆様には、大変お忙しい中、八戸市中央卸売市場運営協議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。
また、日頃から、当市場の運営につきまして格別の御支援を賜り、深く感謝申し上げます。
さらに、八戸学院大学の田中様におかれましては、八戸市中央卸売市場運営協議会の委員の就任につきましてご快諾を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、市場を取り巻く環境は、人口減少による市場規模の縮小や市場外流通の増加、消費者の食に対するニーズの多様化や安全・安心志向は年々高まっております。また、食の安全・安心、トレーサビリティの確保が益々重要になると認識しているところでございます。
当市場といたしましては、北東北の拠点市場としての自負と責任を持ち、安全・安心な生鮮食料品等の安定供給に努め、地域住民の生活の充実に貢献して参りたいと考えております。
今年度は「第 10 次八戸市中央卸売市場整備計画」を策定する重要な年であることから、皆様とともに市場の機能強化に向け、検討して参りたいと考えております。
結びに、委員の皆様には、多年にわたり培われました豊富な知識と経験を生かされ、当市場の活性化はもとより、広く市勢の発展につきましてもお力添え賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

４．協議案件

○司　会　それでは、４．協議案件 に移らせていただきます。
会議の議長は、会長の職務代理者である小山副会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○副会長　それでは、会長が決まるまでの間、議長を務めさせていただきます。
議事進行へのご協力をお願いいたします。

案件１ 会長の選任について ですが、運営協議会規則第３条第２項により、会長は、委員の互選によって定めることとなっております。

会長の互選の方法をどのようにしたらよろしいか、お諮りいたします。

○Ａ委員　指名推薦でお願いします。

○副会長　ただいま、Ａ委員から指名推薦とのご意見がございましたが、ご異議はございませんか。

―異議なしの声―

○副会長　ご異議なしとのことですので、指名推薦の方法によることといたします。

どなたがよろしいか、ご推薦をお願いいたします。

○Ｂ委員　会長に、田中委員を推薦します。

○副会長　ただいま、Ｂ委員から、田中委員のご推薦がございましたが、ご異議はございませんか。

―異議なしの声―

○副会長　ご異議なしとのことですので、田中委員に会長をお願いするということで、決定いたします。

それでは、議長を交代させていただきます。ご協力ありがとうございました。

○司　会　小山副会長、ありがとうございました。

○司　会　それでは、田中会長、議長席へお願いいたします。

では、田中会長から、就任のご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

○会　長　本日はお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。ただ今、会長にご指名いただいた、田中でございます。よろしくお願いいたします。また、25 年 1 月の中央卸売市場経営展望作成におきましては、誠にありがとうございました。これから、委員の皆様のご助言並びにご協力をいただきながら、小山副会長とともに、協議会の円滑な運営に力を尽くして参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日、次第にありますように、「八戸市中央卸売市場取扱高実績(平成 27 年 1 月～9 月)について」と、「第 10 次中央卸売市場整備計画について」が案件に上がっております。

委員の皆様には、忌憚のないご意見等をいただくとともに、議事の円滑な進行に、ご協力くださるようお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

○司　会　ありがとうございました。

これより、田中会長には、運営協議会規則第３条第３項の規定により、議事進行をお願いいたします。

○会　長　それでは、案件２「八戸市中央卸売市場取扱高実績(平成 27 年 1～9 月)について」事務

局から報告をお願いいたします。

○事務局　市場長の佐々木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、私のほうから、平成 27 年 1～9 月までの平成 27 年の１月から９月までの八戸市中央卸売市場取扱高実績について、ご報告させていただきます。座ったままで、説明させていただきます。

それでは、会議資料の１ページ目をお開き願います。資料の１ページ目は青果部の実績でございます。１の、取扱高でございますが、集計した期間は、本年１月から９月までで開市日数は、１９８日でございました。その間の取扱数量は、７９，７１５㌧で、前年比は１０１．８％、金額は、１６９億 ７９０万７千円で、前年比は１０７．３％となっております。

２の、月別取扱高の表ですが、野菜、果実、その他の区分ごとに、上段が各月の取扱数量と前年同月比、下段が取扱金額と前年同月比を記載しております。

次に、３の、入荷及び価格の状況について、ご説明いたします。野菜につきましては、1 月から 2 月は、全国的に気温が高く一部の地域を除いて天候に恵まれ、入荷増となりました。3 月は、好天が続いた事で、一般野菜の前進出荷が進んだことにより各品目とも増加傾向となりました。4 月は、曇天や冷え込み、干ばつ等の影響で出回りが不安定となり、入荷量は減少しました。５月以降は関東以西の天候不順により一時的に入荷量は減少しましたが、その後主に北海道、東北で好天に恵まれたことにより、徐々に回復し潤沢に出回りました。７月、８月は全国的な高温、干ばつの影響により生育不良の作物が目立ち、全般に品薄傾向となりましたが、９月に入り比較的穏やかな天候に恵まれたため、入荷量は徐々に回復し昨年並みとなりました。

価格については、年明けから３月頃までは潤沢な入荷となり、品薄高の前年と変わって全般的に単価安で取引されました。６月以降は高温や干ばつの影響による品薄傾向により、全般的に高値基調でありました。県内産の大根、人参は７、８月に入荷量が減ったことから単価高となりましたが、年間を通して比較的安定した価格で取引されました。県内産のごぼう、長いもは、暖冬となったために春堀りが多く出荷され潤沢な入荷となり単価安となりました。にんにくは引き合いが強く、需要が好調なことから基調高で推移いたしました。

果実につきましては、りんごは１月から３月までは小玉を中心に高値相場で推移した為動きが悪く、値頃感のある下等級品の引き合いが強くなりました。４月から６月は産地在庫が少なく、昨年より単価高となったため荷動きが悪い状態となりましたが、６月以降は入荷量も前年並みまで回復し、７月には高い相場ではありましたが荷動きはありました。８月のお盆以降はサンつがるに切り替わりましたが、前進出荷となり高値での取引となりました。

１月、2 月では、県内産のいちごが寒波の影響により着色が遅れ、取扱量は少なくなりました。３月にはアメリカ西海岸の港湾ストライキと円安の影響があり輸入果実は安定した販売ができませんでした。４月の天候不良の影響により４月、５月は品薄傾向となりましたが、６月には関東産のメロンやすいかを中心に夏物果実の出回りが増え、潤沢な入荷となりました。７月、８月は天候とお盆需要に恵まれ果実全体に好調な販売が続きました。

続きまして、資料の２ページ目をお開き願います。花き部の取扱実績についてご報告いたします。１の、取扱高ですが、集計した期間は、１月から９月までで開市日数は、１５８日でございました。その間の取扱数量は、１千３６９万４千本で、前年比は９７．８％、金額は、９億６千９２６万５千円で、前年比は１０２．９％となっております。

２の、月別取扱高の表ですが、切花、鉢物、その他の区分ごとに、上段が各月の取扱数量と前年同月比、下段が取扱金額と前年同月比を記載しております。

次に、３の、入荷及び価格の状況について、ご説明いたします。切花につきましては、１月は産地の天候不順が続き不安定な入荷となりましたが、引合いは強くなりました。３月は彼岸前雪

のため荷動きに遅れが多少ありましたが、彼岸に入ると昨年に比べ天候に恵まれ潤沢な荷動きとなり、単価もやや高めで推移いたしました。４月、５月は贈答、イベント用の需要があり、中ごろには母の日用としてカーネーションやバラなどが多く入荷され、中値から高値で取引されました。特にカーネーションは千葉県の個人生産者や栃木県の農協より安定して入荷され、品質もよく好評でありました。６月に入ると昨年に引き続き気温が高い日が多いため開花調整が難しく、流通量が減少し下等級品の増加が目立ちました。７月、８月になると、高温続きのため開花が進み前倒し傾向の出荷となり、全体的に中値から安値で販売され引き合いは弱くなりました。菊は７月後半で出荷がほぼ終了してしまった産地が多く、特に小菊が品薄となり、お盆期間は高値で推移いたしましたが、お盆以降は動きが鈍ったため中値から安値の取引となりました。

鉢物につきましては、１月、２月は蘭類・プリムラ類が全国から入荷され、特に蘭類の荷動きがよく、昨年より入荷量が多くなりました。春の卒業・入学シーズンでは式典用として多少引合いが強くなりました。４月を過ぎると今度は贈答用品を中心に、蘭類、観葉植物の動きが良好となりました。５月になると主要産地の悪天候により取扱高が減少、一方で青森、岩手、山形など東北管内より多く入荷しました。梅雨時期前に出荷のピークは過ぎたため荷動きがあまり良くありませんでした。７月になり梅雨が明けると気温が高い日が続いたため、良い状態を保つのが困難となり荷動きは鈍くなりました。その中でも蘭類は安定した入荷となり、観葉植物は安値傾向で推移しました。８月のお盆明け頃になると蘭類の動きも鈍り、鉢物全体を通してもやや動きが鈍くなりました。

以上で、取扱高実績の報告を終わります。

○会　長　ありがとうございました。ただいま、事務局から報告がありましたが、ご質問があればお願いいたします。

―ありませんとの声―

○会　長　よろしいでしょうか。無いようでございますので、次にまいります。

次に、案件３「第 10 次中央卸売市場整備計画について」事務局からお願いします。

○事務局　第１０次中央卸売市場整備計画の策定について、ご説明いたします。中央卸売市場において、５年毎に整備計画を策定することになっております、平成 27 年度は、新たに平成 28 年度から平成 32 年度までの５年間の期間で第 10 次整備計画を策定いたします。

整備計画の内容は、生産者や出荷者及び小売業者や消費者からのニーズに応えるために、卸売場の低温設備を充実させコールドチェーンの仕組みを確立し、市場の活性化を図るために低温売場の建設を継続して要望したいとおもいます。

但し、国からは第 10 次卸売市場整備基本方針がまだ公表されておらず、その内容が不明なので、国からの基本方針公表後、改めて委員の皆様にご説明したいと思います。

なお、今年度は、下記のとおり農林水産省に提出し、平成 28 年度の強い農業づくり交付金の要望をしております。

工事の概要につきましては、事業年度は、平成 28 年度に実施設計をおこない、平成 29 年度に建設工事を施工する２ヶ年の計画でございます。建物の構造は、鉄骨造を計画しております。

全体事業費は、２億１９８万２千円を予定しており、その内訳は、設計費に１千８０万２千円、工事費に１億９，１１８万円となっております。なお、国庫補助率は 40％を見込んでおります。

以上で説明を終わります。

○会　長　ありがとうございました。ただいま、第 10 次中央卸売市場整備計画について、事務局から報告がありましたが、ご質問があればお願いいたします。

○Ｃ委員　卸売場の低温設備を拡充させるということでしたが、冷蔵庫を作るということでしょうか。

○事務局　現在の卸売場の一角に、壁を作って、冷蔵できるスペースを作成します。

○Ｃ委員　卸売場を冷蔵庫にするということでしょうか。

○事務局　はい、そうでございます。卸売場の中に区画を仕切って、冷蔵庫を作ります。新たに作るというわけではございません。

○Ｃ委員　その件については、両卸とは具体的な話はついているんですか。

○事務局　そのようなプランがあるという説明はしております。細かいところは設計も来年度ですので、面積が 825 ㎡くらいでというような大筋の説明はしておりました。

○Ｃ委員　なるほど。わかりました。ありがとうございました。

○会　長　そのほか、何かございますでしょうか。

―ありませんとの声―

５．その他

○会　長　それでは、無いようですので、次第５．その他　について、当協議会につきまして何かご意見等がありましたら、お願いします。

―ありませんとの声―

６．閉会

○会　長　よろしいでございますでしょうか。それでは、特にご意見等ないようでございますので、本日の協議案件の審議を終了いたします。円滑な議事進行への御協力、ありがとうございました。進行を事務局のほうへお返しいたします。

○司　会　これをもちまして、八戸市中央卸売市場運営協議会を閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。